



離宮八幡宮境内案内図
2班 山本喜三郎 画

発行日 令和3年 11月 10日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 矢内章太
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288 FAX 075 (952) 6289
 URL <https://www.kyoto-ofg.org/>

167号

アサヒビール大山崎山荘美術館開館秘話
(後編)

元大山崎町歴史資料館館長 林 亨



幸運は続くものです。と言うのも買収してマンション問題は回避されましたが、購入した建物、土地の利用についてはまだ白紙でした。

そこにもう一つの幸運が舞い込んだのです。平成4年、朝日麦酒株式会社(現アサヒビール株式会社)初代社長で民藝

運動の支援者であった山本爲三郎の遺品が山本家からアサヒビール株式会社に寄贈されることになったのです。その遺品こそ山本が愛した河井寛次郎・濱田庄司・棟方志功などが民藝運動の中から生み出した作品群でした。この寄贈を受けたアサヒビール株式会社は、先に購入した山荘を美術館としてよみがえらせようと計画をたてました。平成5年のことです。また以前からアサヒビール株式会社が収集所蔵していたフランス印象派のモネの睡蓮他の絵画も展示する方向で計画が膨らみました。民藝運動で生み出された陶芸作品群は本館を改修して展示し、印象派の絵画は新

たに建築家の安藤忠雄氏に依頼して建てるコンクリート打ちっぱなしの建物に展示することにしました。

私も山荘には昭和54年以来仕事で関わりが深く、所有者が変わるごとに建物、庭園の価値について調査をしてきましたが、今回のかかわり方は安藤氏設計の新しい建物を建てるための埋蔵文化財事前調査でした。この調査によって私はアサヒビール株式会社とまた深いご縁を得ることになりました。

平成7年には大林組施工による新館「地中の宝箱」も完成し、本館の改修工事も完了。1年間の準備期間を経て平成8年桜花爛漫の春、開館の日を迎えることになりました。

紆余曲折を経て、加賀正太郎が精魂込めて25年の歳月を費やして建築した大山崎山荘は今、アサヒビール大山崎山荘美術館として新たな道を歩むことになったのです。

美術館になる前から大山崎山荘の栄枯盛衰を見続けてきた一人として、開館から25年を迎えたことは大変感慨深いものがあります。一つの節目を迎えましたがこれからも大山崎町や全国の人々から愛され続ける美術館であってほしいと願うばかりです。

(完)

9月～10月の活動実績

1. 会の行事など

- ・10月26日(火)「あちこち学習山歩」(天王山) 8名
- ・大山崎町文化のつどい パネル展示
10月30日(土)～11月9日(火)

活動予定

主なガイド

- ・11月5日(金) 大阪府北大阪コミュニティカレッジ 45名
- ・11月7日(日) 長岡京市泉が丘自治会 10名
- 14日(日)、21日(日) 〃 各10名
- ・11月10日(水) 関西小樽会 18名
- ・11月19日(金) 八幡氏二・三地区福祉委員会 20名
- ・11月23日(火) リビングツアー・アローズ 6～9名

行事予定

- ・あちこち学習山歩 11月22日(月)

- ・洛中ウォーキング 11月15日(月)
- ☆ 定点ガイド
 - ・11月3日(水・祝)から11月28日(日)までの土・日・祝
「旗立松」「瓦窯跡公園」「アサヒビール大山崎山荘美術館庭園」定点ガイド
- ☆ OFG2021 全体学習会
 - ・12月5日(日)「離宮八幡宮縁起とまつわるお話」他
講師：津田 定豊氏
- ☆ OFG 第1回歴史講演会
 - ・12月4日(土)「近江南部の戦国大名一六角氏について」
講師：新谷 和之氏
- ☆ 大山崎町歴史資料館 第29回企画展
 - ・10月23日(土)～11月28日(日)「大山崎神人と豊臣秀吉」
- ・関連講演会
 - 11月20日(土)「織田豊期検地研究の新展開からみた大山崎」講師：前田 徹氏
 - 11月27日(土)『「井尻家文書」の世界』
講師：福島 克彦氏

9～10月 ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		旗立松・定点		瓦窯跡・定点		山荘庭園		合計	
9～10月	0件	0人	0件	0人	1件	1人	1件	1人	1件	1人	0件	0人
令和3年度累計	6件	169人	76件	120人	1件	1人	1件	1人	1件	1人	82件	289人